

はじめに

1 経過

平成24年12月20日に調布市立富士見台小学校の第5学年の女の子が、給食を食べた後に体調不良を訴え、病院に搬送されましたが、搬送先の病院で、アナフィラキシーショックの疑いでお亡くなりになるという、あってはならない事故が発生いたしました。調布市教育委員会では、この教育活動中の死亡事故を受けて、弁護士、医師、保護者の代表などを構成メンバーに加えた、調布市立学校児童死亡事故検証委員会を平成25年1月10日に発足させ、事故発生の詳しい経緯や事故原因の特定などについて検証を行い、3月12日に報告をまとめました。

2 本検討会の目的及び構成

この検証結果等を踏まえて、再びこのような事故が起こることのないよう、再発防止策を早急に講じるため、調布市教育委員会及び調布市は、調布市立学校、子ども関連施設、福祉施設等における食物アレルギー事故の防止策を策定することを目的とし、調布市食物アレルギー事故再発防止検討委員会（以下「検討委員会」という。）を4月1日に設置しました。検討委員会は、弁護士、医師、安全工学に関する有識者、調布市立学校食物アレルギー対策専門員、食物アレルギーのある子の保護者、調布市立学校PTA連合会会長、調布市立学校小・中学校長会長ほか全19人で構成しました。検討委員会は、4月10日の第1回開催から6月28日の最終回まで6回開催しました。

また、検討委員会には、校長、教員、養護教諭、栄養士、調理士等を委員とする3つの検討部会（事故防止、緊急対応及び給食指導）を設けました。事故防止部会では、平成23年度及び平成24年度の給食における誤食事故等の検証を行い、食物アレルギーに係る事故原因を探るとともに対策を検討しました。緊急対応検討部会では、給食での誤食や新規のアナフィラキシー症状の発症などに対する学校での緊急の対応について検討しました。給食指導検討部会では、食物アレルギーに関して体系的かつ計画的に指導できるよう「食に関する指導の全体計画」、市民への普及啓発及び食物アレルギーのある子どもたちの保護者の孤立化防止について検討しました。

3 報告書の構成

本報告書は、この事故防止、緊急対応及び給食指導の3つの部会の検討結果を中心に、食物アレルギー事故の再発防止のための対策をまとめています。事故防止及び緊急対応については、現状・課題とその対策という構成で整理しています。特に、事故防止に関する対策については、アルファベットの項目立てをし、一覧性を持たせました。また、3つの部会に関する共通の取組として、研修の重要性が協議されたため、研修体制を第4の項目に位置付けました。さらに、これら4項目に掲げた対策について、いつまでにどの部署が実施していくのかという進行管理について、第5の項目にまとめました。